

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
前橋市元総社町六七番地
電話 027・2555・3434
FAX 027・2555・3435

出勤の途中で見える浅間山は美しく朝陽をあびて白く輝いています。

ニユースでは鹿児島、宮崎県境の霧島連山・新燃岳の爆発的噴火が毎日放映され、自然の恐ろしさを感じます。以前に出版の関係で一七八三年に浅間山が大爆発を起した文献にあたった事がありますが、その年は四月上旬から活動を始め五月、六月と一ヶ月ごとに噴火と小康状態を繰り返し、日を追うごとに間隔が短くなり七月六日から八日の三日間で大災害を起しました。現在の鬼押し出し方向に溶岩流が北東方向に火砕流が発生、三ヶ月続いた活動で山腹に堆積していた大量の噴出物が爆発・噴火の振動に耐えきれず崩壊し、土石なだれとなって高速で山麓の大地を削りながら熾烈な村鎌原と長野原の一部を崩壊させ、吾妻川に流れ込み、さらに大洪水となつて吾妻川の村を飲み込み本流となる利根川にまで入り込み、さらには現在の前橋まで被害がおよんだという記録があります。利根川は押し流したものの全てを下流の江戸川にまで打ち上げ、この時の死者は約一五〇〇人に達したそうです。この天明三年の浅間山大噴火については、萩原進「浅間山風土記」や立松和平「浅間」で当時のことがよく理解出来ます。

友人と会うと「群馬は地震や洪水などの災害もなく本当にいい所だ」という言葉をよく耳にします。浅間の大規模な山体崩壊と崩壊土砂が流出した痕跡が前橋市の台地上に厚い堆積物として残っているということを考えると遠く新燃岳の噴火も身近に感じられます。

自然災害の恐ろしさは突然のことで、毎日の生活が一変します。

また、人の身体も年齢とともに突然痛みを感じたり、不調を感じたり、心身に変化が現れることもあります。二年前からは人間ドックを定期的にするようになりました。献血で自分の血液の状態もわかります。先日、初めて胃カメラで検査をして自分の身体の内部を見ました。医療の発達には驚くばかりですが、医師の説明と映像を見ながら自分の臓器を見る状況は何とも奇妙な感じでした。開胸・開腹手術や内視鏡でおこなわれる手術など医療現場は素人からすると未来映像のようです。

普段の生活を安心してすごせるように健康管理には充分気をつけたいものです。それには充分な睡眠、バランスの整った食事を摂り、ストレスをためないよう・・・これは心がけてもちよつと無理かもしれませんが、心にゆとりを持つよう心がける程度でストレスはなんとかなるかも・・・。美味しいものを食べたり、温泉に浸かったり、映画を見に行ったり、音楽を聴いたり、旅をしたり、そんな気分転換で解消出来るでしょう。(武藤)

〈ノイエス朝日の展覧会〉

ガラスと土と木の展覧会 〈企画〉

馬越寿(ガラス)・金井君江(トンボ玉)・木村明(ガラス)
小林一夫(木工)・中村利喜雄(陶芸)

二月十九日(土)～二月二十七日(日)
午前十時～午後五時

*ノイエス朝日(画廊)は、レイアウト変更により三月上旬は休廊しております。スタッフは、土、日曜日以外は交代で出勤しています。ご用の方は、事前にお電話でご確認の上、お出かけ下さい。

和久井英明油彩画展 〈企画〉

三月十九日(土)～三月二十七日(日)
午前十時～午後五時

ノイエス講座 本間教室のご案内

「量子力学―極限の世界を律するもの」

講師 本間重雄先生

第一回 二月十六日(水) 午後二時～
第二回 三月十六日(水) 午後二時～
第三回 四月二十日(水) 午後二時～

会場 ノイエス朝日 スペース1

受講料 一回 一〇〇〇円(ドリンク付)

ご予約は展覧会会期中にお電話にてお申込み下さい。

電話 027・2555・3434

お知らせ

「井上肇画集」をノイエス朝日でご購入された方は、展覧会会期中にノイエス朝日スタッフまでご連絡下さい。

〈県内の展覧会案内〉

相原求一朗展 桐生・大川美術館

春を待ちながら 電話0277・46・3300
三月二十七日(日)まで 午前十時～午後五時三十分
休館日 月曜日(三月二十一日は開館) 三月二十二日
入館料 一般一〇〇〇円

川越市生まれ、戦後は猪熊弦一郎に師事、新制作協会に出品し続け、取材で訪問した北海道の大地に衝撃を受け、北海道の大地を一貫したモチーフで描くようになり诗情溢れる画面は不思議な世界を作り出しています。

冬季休館中である北海道の相原求一朗朗美術館収蔵作品を中心に約六十点展示。桐生の街を楽しみながらお出かけ下さい。

中島たか子「絵画七宝・アートジュエリー」展

二月二十四日(木)～三月一日(火)
午前十時～午後六時 高崎・YOU HALL
連絡先 0276・37・8639
YOU HALL 027・324・1120

第二回 おおたビエンナーレ2011

三月五日(土)～三月十三日(日)
午前十時～午後六時(最終日は午後五時)
太田市学習文化センター・展示ギャラリー 入場無料
問い合わせ 0276・48・6280

出品作家 赤穂美恵子(新潟) 今成建史(太田)
河内世紀一(伊勢崎) 株田昌彦(宇都宮)
小松原洋生(太田) 児玉士洋(八王子)
島田 毅(太田) 新富正弘(太田)
高崎葉子(港区) 津久井信幸(太田)
長島正志(太田) ばんばあつんど(太田)
馬込次雄(太田) 松本安良(水戸)
丸尾康弘(桐生) 森 竹巳(太田)

*展覧会の詳細につきましては、直接お問い合わせ下さい。